

医療倫理小委員会で承認された治療法

当院の医療倫理小委員会にて、下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることは一切ございません。

この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	オピオイド使用またはがん化学療法を施行する患者における悪心・嘔吐に対してセレネース錠・細粒・注を使用
対象者	オピオイド使用またはがん化学療法を施行し悪心・嘔吐を呈する患者
承認日	2024年3月6日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】 ハロペリドールは中枢移行性の高い抗ドパミン作用を持つ薬剤であり、制吐作用が期待されています。オピオイドによる悪心・嘔吐は「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン」において、がん化学療法による悪心・嘔吐は「制吐薬適正使用ガイドライン」においてハロペリドールの使用を推奨しております。</p> <p>【想定される不利益と対策】 本薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される本薬剤の副作用と同等と考えられます。副作用が発現した場合、副作用に対する通常の診療にて対応を行い、必要に応じて各専門医とともに治療にあたります。</p>
お問い合わせ先	順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 医薬品情報室 大代表 03-3813-3111